

情熱通信

2018.5月号

明光義塾 情熱空間グループ

ホームページURL

: <http://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



明光義塾釧路春採SC教室 オープン

来る5月17日、ついに釧路市に3教室目の明光義塾がオープンいたします。場所は釧路市春採ショッピングセンター内、春採中・青陵中・幣舞中・武修中のちょうど中間辺りになります。

どなたか周りに「明光義塾に通わせたいのだけれど、ちょっと遠くて…」とおっしゃっている保護者の方がいらっしゃいましたら、是非お声がけいただければと思います。

また明光義塾釧路愛国教室、釧路鳥取教室、中標津教室も生徒を大募集中です。併せて、お声がけいただきたく思います。

明光eポ、小学生の明光みらい英語、中学生向けのドリルクイパーとリスニングクイパーなどなど、新しく生まれ変わった明光義塾を是非ご友人にもご紹介ください。

今年度も明光義塾情熱空間グループ同、「分かる・話す・身につく」授業で全力をもって指導をさせていただきます。

今後とも、なにとぞよろしくお願いいたします。



家での学習のコツ

★勉強基地を作る★

勉強する場所はとても大切です。漫画やゲームなどは別の場所に移動させて、視界に入らないようにしましょう。勉強スペースは、自分が集中できるように自由に作ってください。机がお気に入りの場所になるよう、目標を書いた紙を貼ったり、好きなものを置いてみるのも良いかもしれません。

★小さなことでもまず取りかかる★

自宅学習における最大の関門は、「勉強を続ける」ことではなく「勉強を始める」ことです。家では何をやるよりもまず先に机に座り、どんなに簡単なことからでもいいので、「まずはノートに書いてみる」ようにしましょう。「書く」ことから始めると集中力アップにつながります。「手を動かす」ということがポイントです。

★分かるところから始める★

まず勉強を始めるために、分かるところから問題を解いてみるのも良い方法です。なによりも「分からない」ことがやる気の低下につながります。勉強の習慣ができてきたら、チャレンジする問題を増やしていくようにしましょう。そうすることでより達成感を感じ、やる気が続くようになっていきます。

★目標は細かく★

「〇〇合格」というような大きな目標の他に、すぐ手が届く小さな目標を考えましょう。「今日は〇〇を〇問解く」のように、目標に沿ってその日の学習計画を立ててください。さらに細かく、例えば、「〇問正解」ごとに好きなお菓子を食べるなど、自分にこほうびをあげると達成感を感じやすいです。自分に合った方法を考えてみましょう。

各学校の年間行事予定をお持ちください

新年度が始まり、学校から年間行事予定を渡されていることと思います。塾でもテスト日程などを把握するために必要になります。コピーし、すぐに返却いたしますので、塾への持参をお願い申し上げます。

「明光eポ」利用開始

4月より新システムとなる「明光eポートフォリオ」(以下、明光eポ)の利用開始になりました。数多くの皆様に塾連携していただき、誠にありがとうございます。

さて、明光eポが利用開始になったことで、以下のような利点が考えられますので、まだ連携をしていない方がいらっしゃいましたら、是非、塾連携していただきませうようお願い申し上げます。

1. 授業の内容が授業終了後すぐに確認できる。
2. 緊急の連絡が受け取れる。
3. お子様の通塾スケジュールがわかる。
4. テストの得点の推移がわかる。

以上のようなことが考えられます。

今後も、明光eポ以外でもサービスの向上に向けて、日々、邁進してまいりますので、今後とも明光義塾をよろしく願いいたします。

なお、塾連携するためのIDやパスワードを受け取っていない方がおりましたら、お手数ですが教室まで、その旨、連絡をください。すぐにID、パスワードを発行させていただきます。

また、4月からの新システムとしまして、明光eポ以外にも中学生の方を対象とした、ドリルクイッパーやリスニングクイッパーもあります。家庭学習の1つとして、是非ご利用ください。特に、高校受験生の1学期中の基礎力強化にはおすすめです。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

繰り返すこと

アリストテレスの言葉です。
「人は繰り返し行うことの集大成である。だから優秀さとは、行為でなく、習慣なのだ。」

たとえば、計算も繰り返し行うことが大事ですね。計算は量をこなしていくことで質に変換していきます。簡単に言うと計算ミスが減ります。計算が早くなります。次の単元の新しい内容に入っても、それまでの計算の仕方が身につけているので、すんなりと入ることができるようになります。体で計算の仕組みを覚えることになるので、迷いがなくなりストレスも減ります。人は「繰り返すこと=習慣」によって、いろいろなスキルを得ていくのだと思います。

中学数学はどの学年も計算内容から始まります。これは今後の数学の基盤となるもの。ここをしっかりと定着させ、解くことに慣れることが大変重要です。計算問題を数多くこなすことは、あまり面白いことではないかもしれませんが、ここでしっかりと演習を繰り返しておけば、必ず文章題や関数の内容に入ったときに生きてくるようになっていきます(数学のカリキュラムというのはそういうふうになっています)。ですので、決して甘く見ず、しっかりと取り組んでほしいと思います。

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

共通テストと英検

2020年より大学入試センター試験が廃止され、新たに大学入学共通テストが実施されます。ですが、その詳細については全容が明らかになっていないというより「まだ明確に決まっていない」ようです。事実、大学受験のエキスパートである大手の予備校でさえ数学、国語に導入される予定の記述式問題や表現力を問う問題に対する対策を始めただけかとのことです。

最も動向が注目されている「英語」の改革については、端的に言えば民間資格の取得状況を試験結果として代用出来るか否かが焦点となっています。英語の民間資格といえば英検やTOEICが思い浮かびますが(ほかにもありますが割愛します)、先日、「民間資格の代表格である英検が共通テストの代用にならない!？」というニュースが報道されました。正確には「従来型の英検は資格要件を満たさない」です。

従来型の英検とは、学校や塾などで筆記を中心とする1次試験を行い、その合格者が後日面談(2次試験)の結果を経て最終的な合格が判定されるポピュラーなものです。しかし、この「日をまたいで試験が実施される点」が資格要件を満たさないと判断されたようです。

実は英検には1日で1次、2次を受験する方式があり、こちらは資格要件を満たしていると判断されています。これからは1日完結型の英検が主流となる日がくるかもしれません。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

検定ものを利用する

小学生の場合。学校から持ち帰ってくるテストは、いつも100点。いくつか間違いの跡が見られるものの、書き直して赤丸をもらえていたりして、とりあえずはいつも100点満点の答案を持ち帰ってくる。で、親はひとまず安心。でも、それが怖いのですよね。いつもそうして100点満点だったはずが、例えば中学入学時などに、ためしに受けてみた全道規模の模擬試験結果を見て、親子で顔面蒼白に…。ありがちです。ありがちというか、嫌というほど目の当たりにしてきたパターンです。

というわけで、小学生の子のお母さんにお勧めの方法です。年に一度でいいので、検定ものを利用する。というものです。小学生ならば、「漢字検定」に「算数検定」で十分。その際、年明けの1月・2月・3月の受験であれば、現学年の学習内容の大半は終了しているわけですから、「9割以上得点」での合格を目標にするといいでしょ。

夏や秋口までの受験であれば、現学年ではなくて前学年の級で十分。これも同じく、「9割以上得点」での合格を目標にすればいいでしょう。例えば、漢字検定は毎年2月実施のもの(第3回検定)を受験し、受験級は当該学年のものに決めてしまう。そうした使い方が合理的だと思います。

年に1回か2回、そうして検定ものを利用して、「つまづき」がないかどうかをチェックしてあげれば、後は楽なものです。毎年継続していたならば、「つまづき」の見極めも簡単にできますね。

株式会社 情熱空間 代表取締役 三木 克敏